



ゆかた姿の若者など

上福岡七夕まつり

7万人の見物客でにぎわう

八月六日と七日の二日間、上福岡の夏を彩る伝統行事の「七夕まつり」が中央公園を本会場にして開かれました。

ことしは、五月に設立した上福岡市観光協会（会長・田中喜三市長）を中心に実行委員会が組織され、急ピッチで準備がすすめられました。そして、上福岡駅のホームや市役所内にミニ竹飾りを取りつけたり、昨年公募で決まったマスコットマーク入りの大型アーチが登場するなど、早くからまつり気分を盛り上げました。



ゆかた姿で友だちといつしよに七夕まつりを満喫。まちは2日間、まつり一色になった



歌と踊りのアメリカン・ポップスコンサート

三中学校吹奏楽部と消防音楽隊の演奏、プロの民謡歌手と太鼓の共演などが繰り上げられました。例年になく二日間とも涼し

まつりは大東文化大学吹奏楽部のオーブニングパレードで開幕し、阿波おどり大会や子どもみこし、市民カラオケ大会、おどりと歌のバラエティショー、上福岡音頭流し、地藏太鼓、アメリカン・ポップスコンサート、第二・第三中学校吹奏楽部と消防音楽隊の演奏、プロの民謡歌手と太鼓の共演などが繰り上げられました。例年になく二日間とも涼し

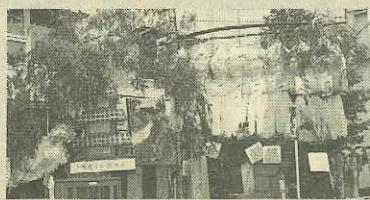


露店が所狭しと軒を並べ、子どもたちの熱い視線を集めた

い七夕まつりになり、ゆかた姿の親子連れや若者、勤め帰りの人など約七万七千人（東入間警察署調べ）の見物客でにぎわいました。

恒例の竹飾りコンクールは、川越まつりの山車をイメージしてつくったという有山商店が市長賞を、かわいいスヌーピーが子どもの人気を集めた寝具のコジマが市議会議長賞を、新河岸川をテーマにつくったコミュニティづくり懇話会が商工会長賞を獲得し、七日に本部会場で表彰を受けました。そのほか、金賞五点と銀賞・銅賞各十点も選ばれました。団体の部では、中

竹飾りコンクール



①商工会長賞（コミュニティづくり懇話会）

②市議会議長賞（寝具のコジマ）



③市長賞（有山商店）

央通り商店会が金賞に、駅前名店街が銀賞に、本通り商店会が銅賞に選ばれました。

来年は市制施行二十周年。七夕まつりはさらに盛大に！